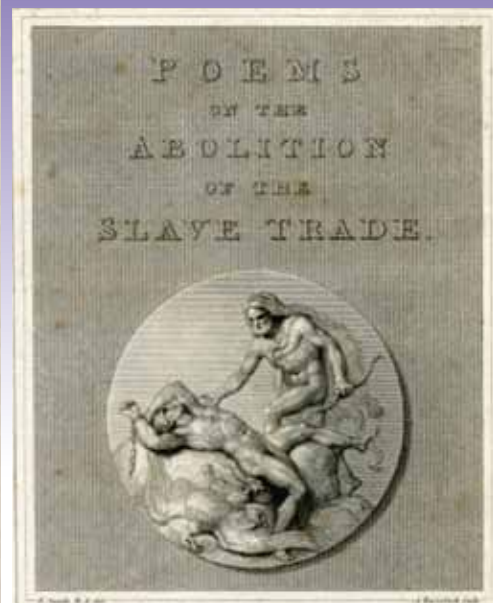


# 日本シェリー研究センター 第27回大会 — プロメテウス・カルトと『フランケンシュタイン』 — 『フランケンシュタイン あるいは現代のプロメテウス』出版二百周年記念 特別プログラム

Lecture and Symposium in Commemoration of the 200th Anniversary of the Publication of *Frankenstein*



▲ H・フュースリ「ヘラクレスに解放されるプロメテウス」



▲「奴隷貿易廃止についての詩 (J・モントゴメリー 1809)」の挿絵 (1810)

日時：平成 30(2018)年 12 月 1 日 (土) 13 時開始

場所：立命館大学 衣笠キャンパス

(参加費500円をいただきます)

13:05 特別講演 クリストフ・ボード  
(ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン)  
*Germany in Frankenstein*

14:20 シンポジウム  
プロメテウス・カルトと『フランケンシュタイン』  
司 会 アルヴィ宮本なほ子 (東京大学)  
パネリスト 廣野 由美子 (京都大学)  
パネリスト 阿部 美春 (立命館大学)



▲ G・クルクシャンク「現代のプロメテウス あるいは専制の没落」(1814)

『フランケンシュタイン』誕生・出版二百周年記念企画の最終年は、作品の副タイトル「プロメテウス」に着目し、プロメテウス・カルトをテーマにシンポジウムを持つ。ゼウスに抗い自由を希求するプロメテウスは、詩人、芸術家を魅了し、シェリー・バイロン・サークルをはじめ多くの作品を生み出してきた。だがその含意は一様ではない。シンポジウムでは、従来あまり言及されることのなかった作品の掘り起こしを含め、プロメテウス熱の新たな眺望を得ることをめざす。

本講演とシンポジウムは、JSPS 科研費 16K02473 の助成を受けたものである。

詳細はホームページ <http://prometheus-shelleys.org> をご覧ください。  
連絡先：阿部美春 [mav20065@se.ritsumei.ac.jp](mailto:mav20065@se.ritsumei.ac.jp) 白石治恵 [harues@rakuno.ac.jp](mailto:harues@rakuno.ac.jp)

Copyright The British Museum